



# 議会だより

発行：八郎潟町議会 編集：議会広報編集委員会

〒018-1692 秋田県南秋田郡八郎潟町字大道80 TEL 018-875-5810

## 3月定例会



小学校卒業式



中学校卒業式



幼稚園卒園式

2～3	.....	新議員の抱負
3	.....	臨時会
4～5	.....	当初予算
5	.....	受賞
6～10	.....	一般質問
11	.....	提出議案
12～13	.....	各常任委員会の審議
14	.....	請願・陳情／議会のうごき

# 新議員の 抱負



議長  
村井 剛

この度の改選で、更なる議席を与えられ、心から感謝申し上げます。又、議長の仕事に賜わり、その責任の重さに、身の引き締まる思いで、いっばいです。

課題山積のあり、議会（議員）は、町当局に対するチェック機能を発揮しながらも、評論ではなく、地域づくり・町づくりの主体者としての責任は、きわめて大きい。

浅学非才であります。『百術一誠に如す』を信条とし、誠心誠意努力致しますので、御鞭撻御指導賜りますようお願い申し上げます。



副議長  
伊藤 秋雄

この度、地域の皆様のご支援を頂き立候補し五期目の当選を果たしました。心からお礼申し上げます。私は町民の皆様が安心安全な毎日をご過ごせるよう誠心誠意、努力します。町民と同じ目線に立ち、心の触れ合いを大切に、苦楽を共にし、町の発展のために対話・行動・実行して行きたいと考えています。又、議員仲間の方々は是非の心で八郎潟町を明るく、住みやすい町にするために創意工夫し全力を尽くします。なにとぞご支援をよろしくお願ひします。



小柳 聡

この度は無投票という形での選任ではありましたが、私自身としては全町を周り、たくさんの方々の期待を痛いほど肌で感じ、応援や数多くの激励をいただいた議会に立たせていただいたものだと感じております。

町民の皆様のおいにも応えるべく、若輩だからと遠慮することなく、まずはこれからの議員としての4年間、勉強をさせて頂きながらはありませんが、精一杯頑張つて参りたいと考えております。

一番小さな町で一番のつかい町づくりに議論や行動で微力ながら貢献できればと思っております。



柳田 裕平

この度の町議選では無投票ながら、町民の皆様から議席を与えられたことに心から感謝申し上げます。

1期4年の経験を生かして、今まで通り町民の声や身近な問題を行政に忠実に伝えて、町民と一



伊藤 敦朗

この度の改選にあたり、1日の遊説では御座いまして、多くの皆様の声を聞くことができました。我が町の将来に対する展望、すくそにある健康医療に対する不安、農業の担い手に対する将来性など、様々な事が提示されました。

自分の持つている専門性を十分に発揮し、皆様のご意見を町政に反映すべく全力でがんばりますので、さらなる皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願ひいたします。



三戸 留吉

町の全域を把握し誰とでも、気軽に語り合い、町民の安全安心な町づくりの為、対話と行動力を



石井 清人

モットーに、粉骨砕身頑張ります。



北嶋 賢子

2期目の任期にあたり心を新たに取組む所存であります。町のすすめる総合計画、過疎地域自立計画、人口ビジョン・総合戦略に賛成しましたので、これを積極的に議員の立場で支援・後押しをしたいと思ひます。ただ行政がすすめる政策と町民の民意にズレがあるときもありません。民意をくみ取り常に提言、意見を出して幸せな町づくりを目指したいと思ひます。

労働組合活動で社会の仕組みを知り、己が信念で此処まで来ました。遥か高校卒業時、「曲るごも曲らねば、世の中渡って行けないよ。」と言った友。山の人参畑から見ると、千拓前の八郎潟は、キラキラと眩しさが大好き。今期も忙しくなりそうです。



加藤千代美

この度の改選にあたり、町民の皆様よりふたたび議席をいただき町政運営について、議論の場を与えていただいたことに対して深く感謝いたします。

私は、今任期も町民と共に町民の抱えている問題について、議会の中で真摯に議論を展開し解決にあたりたいと考えております。



村井 昇

町民の声をより一層議会に反映させるべく努力しますので、どうか今後ともよろしくお願ひいたします。

この度、地元の皆様のご支援を頂き町議会議員になる事になり、心から感謝申し上げます。本町においては少子高齢化、人口減による空き家が増加しており併せて高齢世帯、一人暮らし世帯も増加しています。また町の基幹産業である農業においても後継者不足が大きな問題になってきています。この様な事態について

このたびの町議会改選にあたりまして、前回に引き続き町政発展への責務を担うことができました。この場を借りまして厚くお礼申しあげます。議会は町の意思決定機



金 一義

町の重要テーマについて議会と町が議論する町民に開かれた議会でない限りはなりません。そのため頑張ります。

本町の良さを生かし、交流人口の拡大と定住人口を根気よく開拓する方針にエネルギーを注ぎたいものです。町の重要テーマについて議会と町が議論する町民に開かれた議会でない限りはなりません。そのため頑張ります。



近藤美喜雄

改選に当たり町民の皆様から頂いた温かいご支援心から感謝いたします。少子高齢化時代、若年層の減少は、町の生産性の減少と町の元気が損なわれます。本町の良さを生かし、交流人口の拡大と定住人口を根気よく開拓する方針にエネルギーを注ぎたいものです。

関であり、主には首長が提案された案件に対する審議の場であります。私も議会人の本来の使命は、執行部に対する批判監視であります。したがって、今、議会に求められておりますのは、議会の活性化であり議会議員の政策立案能力の強化であります。議員自身の手によって住民要求にこたえる条例案の提出や、ときによつては町長から提案された案件を修正する覚悟で頑張ります。なかなか本町の経済情勢は、依然として厳しい状況が続いております。一方町民の皆様への願いは、教育・子育て支援・農業の振興・商工業の活性化、高齢者、環境等への積極的な対応が必要とされております。「道は近きにおいて遠きに求む、事は易きにありて難きに求」と孟子のことばです。地域の代表としての認識に立ち、常に研鑽を重ね地域の意思が町政に反映できるよう努力してまいります。



# 第1回 臨時会

平成29年2月23日招集

## 議会構成、各組合議会議員、監査委員など決定

2月23日第1回臨時会が開催され、正副議長の選出、各常任委員会、議会運営委員会、議会広報編集委員会の構成、各組合議会議員の選出、監査委員選任の同意を行いました。監査委員には、金 一義氏が選任同意されました。

議案第1号 監査委員の選任につき同意を求めることについて ▶▶ 賛成多数可決(反対2 加藤千代美、伊藤 秋雄)

# 八郎潟町議会構成

議長 村井 剛  
副議長 伊藤 秋雄

議席	氏名
1番	小柳 聡
2番	柳田 裕平
3番	伊藤 敦朗
4番	三戸 留吉
5番	石井 清人
6番	北嶋 賢子
7番	加藤千代美
8番	村井 昇
9番	近藤美喜雄
10番	金 一義
11番	伊藤 秋雄
12番	村井 剛

## 常任委員会

### 総務産業常任委員

委員長 伊藤 敦朗  
副委員長 金 一義  
委員 小柳 聡  
" 三戸 留吉  
" 村井 昇  
" 伊藤 秋雄

### 教育民生常任委員

委員長 加藤千代美  
副委員長 石井 清人  
委員 柳田 裕平  
" 北嶋 賢子  
" 近藤美喜雄  
" 村井 剛

### 議会運営委員

委員長 柳田 裕平  
副委員長 北嶋 賢子  
委員 伊藤 敦朗  
" 村井 昇

### 議会広報編集委員(前期)

委員長 近藤美喜雄  
副委員長 小柳 聡  
委員 伊藤 敦朗  
" 加藤千代美  
" 村井 昇  
" 村井 剛

### 議会選出監査委員

金 一義

## 一部事務組合議員

### 湖東地区行政一部事務組合議員

三戸 留吉  
北嶋 賢子  
村井 昇

### 八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議員

小柳 聡  
柳田 裕平  
伊藤 敦朗

### 八郎湖周辺清掃事務組合議員

石井 清人  
近藤美喜雄

平成29年度

# 一般会計予算総額 30億7,279万7千円

前年度比 5.9%の増 (1億7,091万3千円増)

● 特別会計 (4 会計) 当初予算

20億3,061万9千円

● 上水道特別会計当初予算 (支出)

2億5,193万8千円

3月定例会は、3月7日から17日までの11日間にわたり開かれました。一般質問は5名、審議した議案などは、補正予算6議案、条例関係4議案、過疎地域自立促進計画の変更及び秋田県町村電算システム共同事業組合規約の変更、人事案件14議案及び当初予算関係7議案で、いずれも原案どおり可決されました。

● 主な事業 (一般会計)

※(新)は新規事業です

事業	事業	予算額(千円)	説明
(新)	地方公会計制度導入支援業務委託料	4,590	統一的な基準による地方公会計制度の整備と財務書類等作成を委託
	湖東地域公共交通確保維持改善事業 法定協議会負担金	502	井川町を除く南秋田郡(3町村)の地域公共交通再編計画策定に係る負担金(秋田県と五城目町・大潟村・八郎潟町で構成)
(新)	中央児童館改修工事(学童保育事業)	562	えきまえ交流館はちパルで実施している学童保育事業を、利用者及び保護者の要望を踏まえ、再度実施場所を中央児童館に変更することによる改修工事
(新)	がん患者補正具購入費補助金	60	がん治療により脱毛が生じた方へのウィッグの購入経費の一部を助成するもの
(新)	H a c h i L A B 補助金 (商店街の活性化対策)	5,231	商店街の活性化からまちづくりを進める活動を支援するためNPO法人H a c h i L A B に対して人件費2名分の補助金
(新)	学校改修・共同調理場建設基本設計 業務委託料(小・中併設校推進)	3,005	小・中併設校計画の実施に伴い、平成30年度工事着手に向け、校舎の改修及び共同調理場の基本設計業務を委託するもの
(新)	町道整備工事(小池道路など整備)	90,000	町道小池線道路改良、町道旧秋田八郎潟線道路舗装、町道石川線及び町道八郎潟線の道路改修
(新)	住宅整備工事(中嶋住宅新築)	175,653	中嶋住宅の老朽化により、解体して新築するもの(関係設計委託料、整備工事費、移転補償費等を計上)
(新)	小型動力ポンプ付積載車購入 (整備計画)	10,584	消防団に配備されている小型動力ポンプ付積載車について、平成29年度は配備後25年以上経過したもの2台を更新するもの(計画は平成29年度から平成31年度までの3年計画)
(新)	地方創生拠点整備交付金事業 (一日市商店街に活性化拠点施設整備)	116,805	弁当や惣菜などの研究・開発、空き家・空き店舗調査、集客イベント開催などの活動促進委託料、拠点施設設計委託料、同工事監理委託料、同建築工事費、空き店舗解体工事、土地購入費、備品費など

### ◆議決された条例の主な内容

#### 八郎潟町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

役場で勤務する職員が50人を超えているため、労働安全衛生法等により、産業医を置く必要があり、それに伴う産業医の報酬を定めるための条例改正

#### 八郎潟町町税条例等の一部を改正する条例について

地方税法及び地方交付税法、地方税法施行令の一部改正に伴う、町税等の所要の規程を図る必要があり条例の一部を改正

#### 八郎潟町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について

町条例で定めている占用料について、道路法施行令の一部改正に伴い、一部占用料を引き上げることから、条例の一部を改正

#### 八郎潟町都市公園条例の一部を改正する条例について

町条例で定めている占用料について、道路法施行令の一部改正に伴い、一部占用料を引き上げることから、条例の一部を改正

### ◆人事案件

#### 湖東地区行政一部事務組合議会議員の選任につき同意を求めることについて

全会一致で、17区渡部壽一氏が同意されました

#### 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

全会一致で、20区千田幸一氏が推薦されました

#### 八郎潟町農業委員会委員の選任につき同意を求めることについて

次の12名が同意されました

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1 伊藤 春光 氏 | 7 畠山 一孝 氏  |
| 2 須田 誠 氏  | 8 小玉 敦 氏   |
| 3 渡部 敏明 氏 | 9 小柳伊津子 氏  |
| 4 北嶋透志雄 氏 | 10 小野 絹代 氏 |
| 5 渡部 正則 氏 | 11 伊藤 一 氏  |
| 6 齊藤 和雄 氏 | 12 齊藤 良子 氏 |

### 「平成29年度八郎潟町一般会計予算に対する反対討論」

北 嶋 賢 子 議員

4km四方の小さな町、痒いところに手が届く町、一人一人の顔の見える町、箱庭の様なきれいな町、インターチェンジ、駅、国道のある町、学校給食の無料の町、病気療養中のウィッグに助成のある町、隣町の友人が言いました。「隣が空家になったから帰って来い。」と言ったら、「一日市の方が住み易い。」と言われたと。

私のテーマは、みんなが町民税を納められる様になったら、もっと心が、町が、豊になると思う。

でも何か足りないものがある。私のアンケートに寄せていただいた町民の思いは、財政調整基金の1/100の活用。町民の生の声（好評だったアンケートの生返し）の中に、せつなる要望があると思います。

### 🎉 全国町村議会議長表彰（議員15年） 🎉

三 戸 留 吉 議員      金      一 義 議員

伊 藤 秋 雄 議員

### 🎉 秋田県町村議会議長表彰（議員11年） 🎉

近 藤 美 喜 雄 議員



# 一 般 質 問

## 本町の観光産業の 振興施策について



金 一義  
議員

**問** 観光による地域おこしには「光」といえる地域の誇りや自慢を発見することなしには始まらないといえます。「宝さがし」によって発見、あるいは再発見された宝をどのように地域と結びつけるか。本町は交通の要所にめぐまれ、自然や歴史文化遺産とNPO法人浦城・県内三大盆踊り・昨年より実施された田んぼアート等により八郎潟町には今までは考えられない多くの観光客が確実に多くなっております。観光には、通過型と滞在型のニーズがありますが、そのニーズに合わせた観光ゾーンを設定し、温泉施設や宿泊、体験などの施設整備を進めるべきだと思います。

**町長** 本町の観光は通過型に終わっておりません。歴史的文化的な資源や八郎潟・高岡山の資源等恵まれた観光資源があります。観光客を滞在型で受け入れるには、総合戦略

においては空き店舗などを活用し宿泊施設の整備を計画しております。

### 本町の今後の人口増加対策をどのように考えるか

**問** 「日本創生会議」が公表した試算によると、人口流出がこのままつづけば2040年までに本町の人口も3,000人台になると試算されております。今後、急速な少子高齢化が深刻な課題となります。県の「あきた未来総合戦略」との連携はどのように進めていく考えか。

**町長** 平成31年度までの町総合戦略の基本目標は「雇用を創出する・人の流れを作る、結婚出産子育ての希望を叶える・地域社会の形成」するの4分野としております。29年度の当初予算においては、「雇用を創出する」では地場産業の強化育成と雇用の視点から水田利活用支援対策事業、商店後継事業者支援事業雇用奨励等その他、各分野において予算措置をしております。

### 来年に迫る減反見直しに本町としての対策は

**問** 平成30年度には減反の廃止がなくなる等の報道が一部報道機関であります。もちろん農家においては減反がなくなることがないと思えますが、しかしこの政策が進んだ先にはコメ余りが懸念されます。佐竹県知事も複合経営を急ぐことを訴えておりますが、本町

の今後の農業政策をお示しく下さい。

**町長** 町では、県、あきた湖東農協の推奨する野菜等を推進しオール秋田でのブランド戦略に取り組みを進めてまいります。コメの生産数量に関しては県及び市町村が生産の目安を提示することとなっており、価格の下落の招くことのないよう情報提供するため、関係機関と情報の共有化を図り生産者がわかりやすい情報の提供を検討しております。

### ストレスチェック制度の導入について

**問** 厚生労働省は労働安全衛生法の一部を改正する法律により、新たにもうけられた「ストレスチェック制度」の具体的な内容や運用方法を定めた省令を平成27年12月1日から施行とあります。わが町としての導入の状況と今後のスケジュールについて。

項目にわたる職業性ストレス簡易調査票を11月に全職員配布し記入いただきました。集計の結果特化した指標がでた職員がおりません。29年度は秋田県総合保健事業団に調査を委託する方向です。定期的に職員のストレスの状況について検査を行い本人にその結果を通知してまいります。

**町長** 平成28年度のストレスチェックは厚労省が作成した57



ストレスチェックアンケート

### 農業委員会法改正について

**問** 農業委員会が、その主たる使命である農地利用の最適化「担い手への集積、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進」をより良く果たせるようにするために、農業委員会業務の重点化と農業委員の選出方法の変更、農地利用最適化推進委員の新設等がうたわれております。本町の農業委員の選出方法と推進委員の考え方は。

**町長** 町長が提案し、議会の同意を得て任命する方法になります。推薦公募により1月から2月まで募集期間とし、推薦公募終了後に町長が任命する評価委員会を開催し、選任議案を3月議会に提出、議会の同意を得て7月20日の任命となる。農地利用最適化推進委員については、農業委員会等に関する法律7条で農業委員会が推進委員を置かないことができる基準が示されており、本町では、この基準に該当しませんので推進委員は置かないこととします。

# 一般質問

## 道の駅と温泉施設で町の活性化を



柳田 裕平  
議員

### 道の駅と温泉施設について

本町に道の駅があれば、特産品・農産物等の直売や観光客の誘導など産業振興や交流人口の拡大にも繋がるのではと考えます。

また、それに温泉施設が備われば町内外の住民の憩いの場として生活環境の改善効果も期待できるのではないのでしょうか。

過去に、本町としてこの両施設について検討されたことがあったのかなかったのか。

両施設とも、私が町長になってからは検討されたことはありませんでした。

将来構想として、この両施設をどのように考えているのか。

センター建設の構想がありますので現段階では考えておりません。温泉施設については、赤字経営のリスク・試験掘の成功率が約半数である・今後の施設維持管理が大変なことなどを考慮すれば慎重な判断を要すると思います。

### 八郎瀧町新庁舎建設について

温泉施設を諦めたわけではありません、機会があればとの考えです。

町民目線で高齢者に配慮して、やさしく・安心して・いつでも気軽に訪問できる新庁舎であって欲しいと思いますし、新庁舎建設に関しては今後

も質問を通して行政と町民との距離を縮めていきたいと考えています。

ワーキングチームのメンバーは、どのような方針で構成されたのか。

平成26年10月に発足し、実際に新庁舎で職務を遂行できる年齢層の職員の中からバランスを考えて5名で構成され

ました。新庁舎検討審議会に提出する「役場庁舎建設基本計画素案」を作成しております。

新庁舎検討審議会の審議経過・委員構成・今後の開催予定などについて。

第1回審議会は平成29年2月24日に開催して、経緯・基本計画の素案・スケジュール等の説明をしています。

平成28年度中にもう1回開催し、平成29年度では3回開催する予定です。委員構成は、町内会長・商工会青年部・社会福祉協議会・婦人会・JAあきた湖東・観光協会・消防団・保育園・教育委員会委員の各代表と学識経験者の10名となっております。

新庁舎建設基本方針について、町民と町議会への説明はどのように考えているのか。

審議会で話し合われた概要について、議員の皆様には直近議定例会で、町民の皆様には町ホームページや町広報でお知らせします。

お知らせ後に、議会や町民からの意見については必要に応じ審議会委員に諮って参ります。

基本方針を策定する審議会とワーキングチームはどういう形で連携するのか、審議会委員の任期はいつまで。

ワーキングチームは役割を終えていますので、平成29年度には新たな職員メンバーによる

「庁舎新築プロジェクト委員会」を立ち上げる予定です。

その中で審議会意見を踏まえた庁舎建設基本計画の素案をまとめて参ります。

審議会委員の任期は、当初は平成29年3月末としておりましたが、平成30年3月末としております。



役場庁舎

# 一 般 質 問

## 町民の懐を暖めるには



北嶋 賢子  
議員

### 住宅リフォーム、 町も独自に助成を

**問** これまで幾度となく提案して来た事項です。地元業者の仕事が増え、地域経済の活性化につながる最短距離と今でも思っている。業者も自治体職員も、みんなが笑顔になる事業だと思いますが。

**町長** 秋田県の支援事業を活用していただき、町単独支援を考えていない事は、今も変わらない。○町単事業、老朽化した町営住宅4戸の外壁補修工事。

○地域住宅交付金事業、中嶋町営住宅の建てかえ工事を実施する。

これまで以上に町内建築業の為に公共事業の発注に務めて参る。

### 国民健康保険税 を引き下げて、 くらし応援を

**問** 2月24日、秋田さきがけに報道された国保の新制度は、来年の国保税の試算表でした。一人当たりの医療費や所得の水準が高い程、市町村の負担額が上がる仕組み。最も低いのが小坂町。八郎潟町も低い方から5番目。収入の多い分、税が掛かって来るのは当然だと思えますが、年金生活者には、税が重たい。私共のアンケートへの、率直な意見でした。アンケートの生返しをされた町民の声は、当局も議員も傍聴にいられている皆さんもお目通しされたと思います。大変好評でした。生活が困窮して来ると、気持ちまでがギスギスして来ます。基金の一部を活用して、くらしの応援が出来ないものか。

**町長** 新聞報道で示された数値は、平成29年度に事業費の制度を行った

場合の仮の試算結果である。単年度の税收で、保険料の収納必要額が徴収出来ない場合は、財政調整基金の取り崩しや、前年度からの繰り入れで補填するか、県の財政安定化基金から借り入れる事になる。一般会計からの繰り入れは、禁止されていないが、赤字解消計画の策定となる。基金はなくてはならない。

### こどもの貧困対策として高校生 の通学費補助を

**問** 学校給食無料化は、全国62自治体へと広がります。新年度開始も複数あります。その先駆的な役割と、当局の決断、すかさず、アンケートを実行した教育委員会に敬意を表します。学校給食の無料化は、最大の貧困対策と思う。こども6人に1人が貧困状態の日本。通学に掛かる負担の軽減について、高校生が安心して学業に専念出来るように、教育

環境の整備として、通学費に補助を。

**教育長** 現在、県内の高校進学率は98%を越え、義務化している。八郎潟中学校に到っては、ここ数年100%の進学率となっている。高校の選択は任意であり、中には、県内外の遠距離校を受験

する生徒もいる。現行では、通学費の補助は困難である。尚、遠距離通学生や下宿生等の実態及び、通学定期券の料金の状況等について、把握すると共に奨学金制度の周知について、今後務めて参ります。



駅前通学風景



# 一 般 質 問

## 若者の政治意識の向上について



加藤千代美  
議員

**問** 平成27年6月に公職選挙法等の一部を改正する法律が成立し交付されました。

私は、この度の八郎潟町議会議員一般選挙に立候補するにあたり、若者が政治に関心を持ち、政治に参加していただくためにどのような方法があるか、考え、検討してきました。

その一つが、若者が日中働いていることを考えると、夜、議会を開く、あるいは、土・日曜日に議会を開催するというのものであります。

そこで、伺いたいのではありませんが、平成28年6月19日より施行された公職選挙法に基づいて行われた八郎潟町長選挙において、30歳以下の投票者は何人か、特に20歳以下、18歳以上の有権者は何

人で、その内、投票された者は何人か、また、期日前投票をされた方は何人か、その後、その結果を見てどのような対策を立てたのかお聞かせいただければありがたいです。

**町長** 八郎潟町長選挙における30歳未満の投票者数ですが、有権者数433人の内、218人で投票率は50・35%でありました。18歳から19歳の投票者数については、有権者数78人の内45人で投票率は57・69%でありました。期日前投票は、有権者数5,369人中、投票者は2,441人、投票率は45・46%でした。8年前と比較して1,016人、20・93%増加しております。期日前投票の方法が簡素になったことに加え、期日前投票所を農村環境改善センターからはちパルに変更したことが、投票率に繋がったものと分析しております。

今後の各種選挙におきましても、期日前投票所をはちパルで実施するとともに、啓発により投票率の向上を図ってまいります。

**問** 我が町では議会議員選挙では、公開討論会、議員に関する選挙公報を発行するというのはいわけです。こういうことも議会と行政が一体となり周知徹底するということを考えてはどうか。

**町長** そういう意見があれば、それは良いと思います。それは、議会改革の中でやっていくべきだと思います。

**問** 私が以前に議会で定住、移住で取り上げた島根県隠岐郡海士町では、子ども議会を開催し、子ども達に多大なる影響を及ぼしていることが、2月8日の秋田魁新聞に報道されている。そこで本町では、過去に子ども議会を開催したことがあるか否か、子ども議会が開催されていたならば、その内容を披露していただきたい。また、子ども議会には、学校の教育現場にはない非常に生々しい実態が語られる機会の提供があると思うがどうでしょうか。

**教育長** 平成16年12月9日に八郎潟中学校で模擬議会が開催されております。

質問では、福祉班、環境班、観光・商工班、自治班と4つの班の代表が質問を行い、町長が一つ一つに答弁し、生徒は熱心にメモを取ったり、耳を傾けておりました。小・中学生が町の行政について、良く理解を深めていない部分も多々あると思います。また、子ども達の提言には大人の気づかない部分や参考となる貴重な意見もあるの

で、こういう機会をとらえて、子どもも大人も研修し合うことは大事な体験と考えております。

### 町民に行政事務の理解をいただく、一日行政マンの実行

**問** 最近住民の中から、役場の職員の事務内容がよく分からないと言う声をよく耳にします。

そこで、このような問題を解決していただくために、町民の老若男女から希望者を募り、一日行政マンになっていただき行政の理解度を深めていただくという取り組みが、今年1回実施し、町民の中に行政内容を理解していただく町民を増やすことにより、町民と行政の理解度が進むのではないのでしょうか。

**町長** 本町の町民座談会も年々参加者が減少傾向にありますので、工夫を凝らす意味でも検討してみたいと思っております。

## 一 般 質 問

## ふるさと納税の今後について

小柳 聡  
議員

**問** 最近またメディア等でも話題になっているふるさと納税について、2月6日付けのさきがけ新報の一面でも「返礼品競争は正を、72%というテーマで大きく取り上げられており、秋田県内16の自治体が「是正必要」と答える記事が掲載されておりましたが、当町はどのように返答したのか。

**町長** 「ふるさと納税は貴自治体にとって必要な制度だと評価していますか」という質問に対しては「評価する」と回答しています。「返礼品競争が激化している指摘については是正が必要だと思えますか」という質問には「必要だ」と回答しております。

**問** 私も今の過度な競争はふるさと納税の趣旨から少し逸脱している面もあると考えています。制度が改善されるま

ではそれでも現状ルールに乗っ取って、出来る限りの対応をしていくことが町政の発展に繋がると感じております。まずは現状を把握するために数字をお聞きします。26年から27年においてはふるさと納税の金額が倍増していることは確認していますが、27年から28年におけるふるさと納税額の推移は。

**町長** 1月から12月の集計ですが、平成27年が85件202万5千円、平成28年が291件326万と、件数で3・4倍、金額で1・6倍に増えております。件数増加の要因はクレジット決済が普及したこと、及び問い合わせやインターネット申込みのメモ欄を見ての感想ですが、返礼品のマガモが全国でも珍しいからだと分析しております。

**問** 八郎潟町の返礼品は今現在何種類あるのでしょうか。

**町長** 鍋用マガモ肉を5千円以上の寄付の方には半羽分、1万円以上の方には1羽分を返礼しております。

**問** マガモという返礼品に関しては八郎潟町にとって特産品PRもでき、目玉になるものですが、年末分に関して遅れている事も確認しております。ふるさと納税市場の今後を考えれば、同じやり方を続けるのであればすぐに供給不足になることが予想されます。限定数や返礼時期の明記、そして今後は選択肢を増やしていくことが避けられないと考えますがここに



マガモ肉

**町長** マガモ生産組合における供給能力に限界もあり、種類を増やす方向で考えております。具体的な返礼品の品についてはソフト事業も含め早急に検討して参りたいと思います。

**問** ふるさと納税を活用してくださる人の多くはインターネットから情報として拾い上げてくれますが、今現在のHP、ニャンパチニヤイアリー、FBページ等の管理体制は。

**町長** 今現在では総務課職員1名が他の業務と兼務で情報発信の管理を行っております。返礼品が1種類ということもあり、これまではふるさと納税に関する情報発信に

ついて総務課内でもチェック体制が働いていないのが現状でございます。

**問** 私もいろいろな団体のブログやFB等を担当してきた経緯もありますが、担当者が1人だと写真が撮れなかったり、現場にいれない状況になったりもします。1人よりは数人で管理した方が、人の投稿を見て表現方法の違いを感じたり、チームワークがあればモチベーションも上がったります。課を飛び越えてプロジェクトチーム等を作って頂き、発信する意欲向上を。

**町長** 現在は業務ごとに担当部署が管理していますが、HP全体の管理は総務課が受け持っております。まずは情報発信の重要性を職員一人一人が再認識をすることだと思っております。その意味に於いては課を飛び越えた研修の場、話し合いの場は必要と感じております。

他にも

こんな質問を頂きました

○小中併設校について  
○商店街区域のカラス被害について

## 平成29年 八郎潟町議会 3月定例会 提出議案等結果報告

議案番号	審 議 案 件	結 果
議案第2号	平成28年度八郎潟町一般会計補正予算（第8号）について	全員賛成可決
議案第3号	平成28年度八郎潟町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）について	全員賛成可決
議案第4号	平成28年度八郎潟町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）について	全員賛成可決
議案第5号	平成28年度八郎潟町介護保険特別会計補正予算（第5号）について	全員賛成可決
議案第6号	平成28年度八郎潟町上水道特別会計補正予算（第4号）について	全員賛成可決
議案第7号	八郎潟町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第8号	八郎潟町町税条例等の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第9号	八郎潟町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第10号	八郎潟町都市公園条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第11号	八郎潟町過疎地域自立促進計画の変更について	全員賛成可決
議案第12号	秋田県町村電算システム共同事業組合規約の変更について	全員賛成可決
議案第13号	平成29年度八郎潟町一般会計予算について	賛成多数可決 (反対 北嶋賢子)
議案第14号	平成29年度八郎潟町国民健康保険特別会計予算について	全員賛成可決
議案第15号	平成29年度八郎潟町後期高齢者医療特別会計予算について	全員賛成可決
議案第16号	平成29年度八郎潟町公共下水道事業特別会計への繰り入れについて	全員賛成可決
議案第17号	平成29年度八郎潟町公共下水道事業特別会計予算について	全員賛成可決
議案第18号	平成29年度八郎潟町介護保険特別会計予算について	全員賛成可決
議案第19号	平成29年度八郎潟町上水道特別会計予算について	全員賛成可決
議案第20号	湖東地区行政一部事務組合議会議員の選任につき同意を求めることについて (渡部壽一氏)	全員賛成同意
議案第21号	八郎潟町農業委員会委員の選任につき同意を求めることについて (伊藤春光氏)	全員賛成同意
議案第22号	八郎潟町農業委員会委員の選任につき同意を求めることについて (須田 誠氏)	全員賛成同意
議案第23号	八郎潟町農業委員会委員の選任につき同意を求めることについて (渡部敏明氏)	全員賛成同意
議案第24号	八郎潟町農業委員会委員の選任につき同意を求めることについて (北嶋透志雄氏)	全員賛成同意
議案第25号	八郎潟町農業委員会委員の選任につき同意を求めることについて (渡部正則氏)	全員賛成同意
議案第26号	八郎潟町農業委員会委員の選任につき同意を求めることについて (齊藤和雄氏)	全員賛成同意
議案第27号	八郎潟町農業委員会委員の選任につき同意を求めることについて (畠山一孝氏)	全員賛成同意
議案第28号	八郎潟町農業委員会委員の選任につき同意を求めることについて (小玉 敦氏)	賛成多数同意 (反対 加藤千代美)
議案第29号	八郎潟町農業委員会委員の選任につき同意を求めることについて (小柳伊津子氏)	全員賛成同意
議案第30号	八郎潟町農業委員会委員の選任につき同意を求めることについて (小野絹代氏)	全員賛成同意
議案第31号	八郎潟町農業委員会委員の選任につき同意を求めることについて (伊藤 一氏)	全員賛成同意
議案第32号	八郎潟町農業委員会委員の選任につき同意を求めることについて (齊藤良子氏)	全員賛成同意
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて (千田幸一氏)	全員賛成可決
議案第33号	平成28年度八郎潟町一般会計補正予算（第9号）について	賛成多数可決 (反対 加藤千代美)

# 各常任委員会の審議

## 総務産業 常任委員会

◆平成28年度八郎潟  
町一般会計補正予  
算関係

**問** 生活バス路線維持費補助金の追加について秋田・五城目線は町単独事業なのか。  
**答** 乗車率等の関係で国・県補助金の対象とならず、町単独として助成します。

**問** 青年就農給付金について一人当たり150万円を置いていますが、この金額は所得によって変わるのか。またこの制度は3年間の計画か。  
**答** 所得計算によりその

◆秋田県町村電算シ  
ステム共同事業組  
合規約関係

**問** 今回の戸籍の電算組合への加入ですべてが加入したことになるか。  
**答** ほとんどが加入済みで未加入システムは税務の申告、上水道企業会計の2件です。

◆平成29年度八郎潟  
町一般会計関係

**問** 地域除排雪実績数について。  
**答** 28年度は4町内から問い合わせがありました。が、実績は3町内でした。

ようになっている。5年間の計画ですが所得要件によっては補助がなくなるといったこともあります。

**問** 依存財源が74.4%となっており、前年と比較して大きく異なっている要因は中嶋住宅整備か。  
**答** 中嶋住宅の建て替え工事は今後も継続される見込みです。

**問** 八郎潟町水田利活用支援対策交付金に関して町単でのことだが、これは単年の事業なのか。  
**答** 今年で3年目となります。10年を目処に実施してもらいたいとのことで実現した事業であります。



ふれあいロード橋

◆平成29年度八郎潟  
町上水道特別会計  
予算関係

**問** 漏水調査業務委託料2,747千円を計上しており、平成30年度までに2年間調査をするとのことだが、目に見えない箇所での漏水があるのか。  
**答** 現在の有収率は80%代半ばで推移している。町内を4ブロックに分け調査を行い、漏水箇所を特定し、修繕を行うことで有収率の向上を図るものです。

### 要望

- ・町道上沖谷地昼根下1号線の危険箇所(水路)の早期の蓋掛け
- ・浦大町配水池の用地を借地ではなく用地取得すること
- ・五城目八郎潟ICから国道7号までの区間で県道の両側の農地について、産業振興のために農業振興地域の農用地区域からの除外を

# 教育民生 常任委員会

## ◆平成29年度一般会 計当初予算関係

**問** 学童保育を中央児童館で開催する場合は、何人が来る予定ですか。

**答** 2月末現在の登録人数は86人で、来年度の見込みは89人としており、この場合、89人全員が毎日利用するとは考えておらず、一日の平均利用人数は50人と考えております。

**問** 児童1人当たりの面積は1・65平方メートル

以上と明記されています。そうすると、10畳と8畳の二間を利用したとしても、50人で利用するのは無理があるのではないのか。

**答** 50人の児童がいる場合、専用区画面積は82・5平方メートル必要ですが、中央児童館で間仕切りを解体し、2部屋出来た場合は95・42平方メートルなので、移動は可能と判断しました。

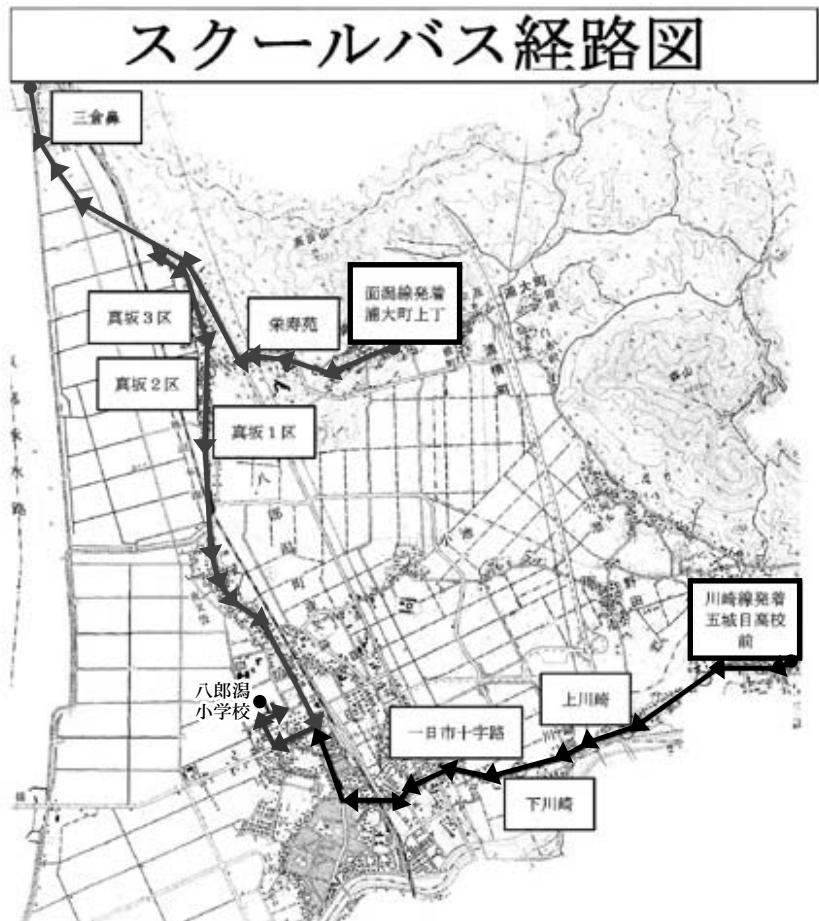


**問** 学校改修、共同調理場建設基本設計業務委託とあります。併設校になるということは給食調理場は、中学校側につくるということになりますか。

**答** 中学校の西側、武道場の後ろを候補と考えております。

**問** 今年度から三倉鼻から乗る方がいると思いますが、どのようなルートで運行しますか。

## スクールバス経路図



**問** 中学校のテニスコート人工芝張替ですが、大体いつ頃を予定しておりますか。部活動に支障なく工事できればよいのですが。

の4分の3の補助事業では是非とも進めたい。4月中に助成の可否が決定されますが、中体連の大会等考慮して時期を見定めて進めたいと思います。

**答** 独立行政法人日本スポーツ振興センターのスポーツ振興助成(Toto)

**問** 小型動力付ポンプ積載車の購入についてです

が、発注の際に自動車販売業者へ小型動力ポンプも併せて発注することになりますか。

**答** 平成29年度から31年度までの3年計画で実施します。29年度は2台です。

## ■ 請願・陳情

受理番号	受理年月日	件名	住所	氏名	件名	本会議結果	付託委員会
1	平成29年1月25日	陳情	秋田市	秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 渋谷 一 秋田県労働組合総連合 議長 星野 博之	地域別最低賃金の引き上げと全国一律最賃制の実現、中小企業支援の拡充を求める陳情	採 択 (賛成多数) 反対：金一義	総務産業
2	平成29年1月25日	陳情	秋田市	秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 渋谷 一 秋田県労働組合総連合 議長 星野 博之	共謀罪（テロ等組織犯罪準備罪）法案の国会提出に反対する陳情	採 択 (全員一致)	総務産業



## 議会のうごき

### 1月

- 4日 消防出初式
- 13日 湖東3町商工会新春賀詞交歓会
- 16日 湖東地区行政一部事務組合臨時議会
- 18日 例月出納検査（監査委員）
- 24日 秋田県議会議長正副会長会議

### 2月

- 4日 合同厄祓い・還暦祝
- 11日 町体育協会スポーツ賞授与式・講演会
- 17日 例月出納検査（監査委員）
- 21日 県町村議会議長会自治功労者表彰・理事会  
南秋田郡町村議会議長会 連絡協議会
- 23日 議会第1回臨時会  
議会全員協議会
- 28日 議会運営委員会、議会広報編集委員会

### 3月

- 4日 婦人会総会
- 7日 議会定例会（17日まで）
- 9日 中学校卒業式
- 15日 幼稚園卒園式
- 16日 小学校卒業式
- 17日 議会運営委員会
- 21日 例月出納検査（監査委員）  
八郎湖周辺清掃事務組合議会
- 22日 県町村電算システム共同事業組合定例会  
南秋田郡町村議会議長連絡協議会 定期総会
- 23日 議会広報編集委員会  
八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議会
- 24日 湖東地区行政一部事務組合議会
- 25日 保育園卒園式
- 27日 湖東厚生病院運営委員会



#### ◆議会広報編集委員会

委員長 近藤 美喜雄  
副委員長 小柳 聡  
委員 伊藤 敦朗  
加藤 千代美  
村井 昇  
村井 剛

3月は旅立ちの時、卒業式は古くてしかしまた、新たな敵かな大切な行事でもある。  
たくさんの方達、恩師、そしてなれ親しんだ校舎ともお別れだ。しかし、一番大切なものは両親と家族の愛だと思ふ。

私からも心をこめて一言。

谷川俊太郎の詩「未来へ」の最後の一節「誰もきみに未来を贈ることは出来ない 何故ならきみが未来だから」を引用したい。それが目標をもって頑張ってほしい。  
(近藤)

## 編集後記